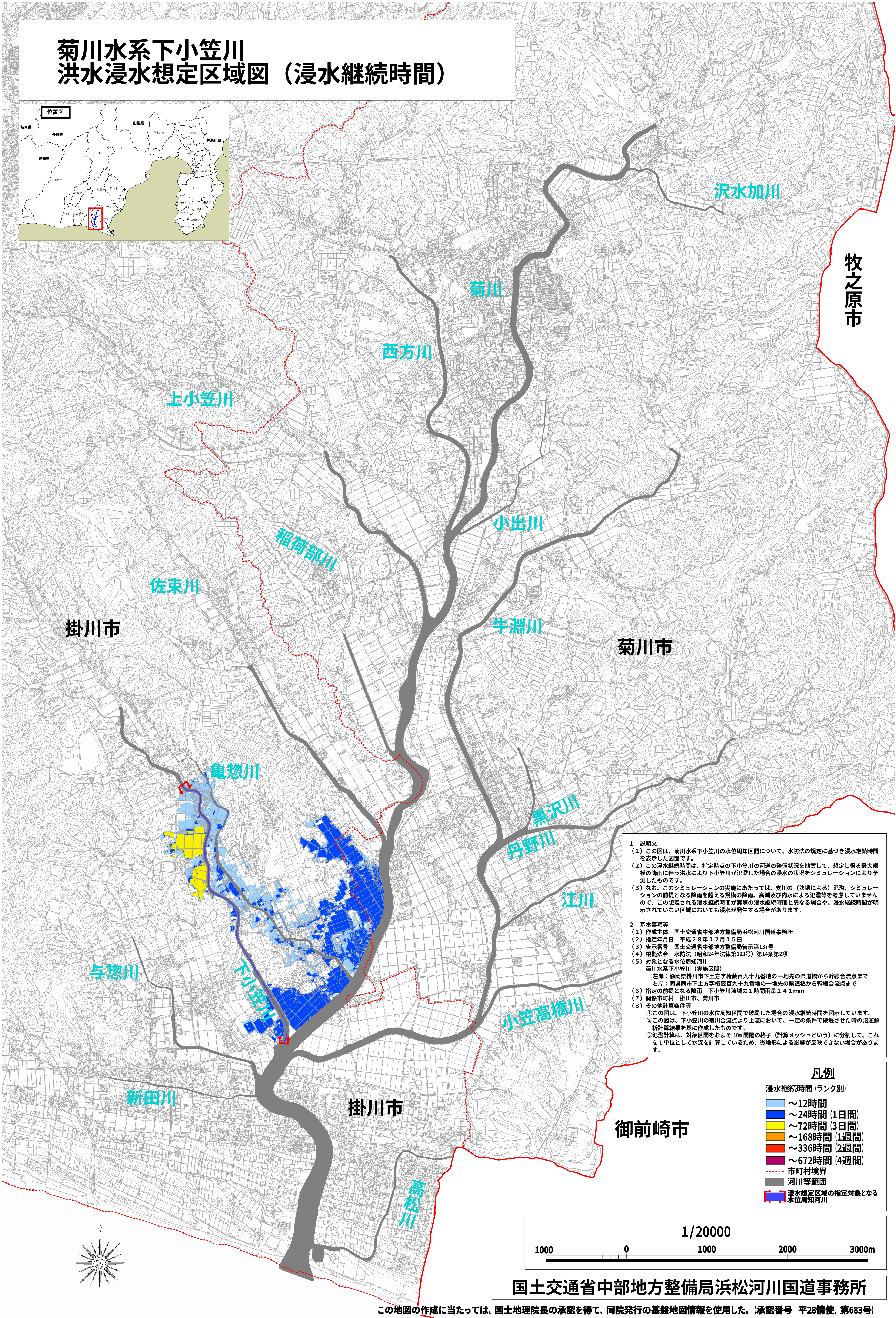
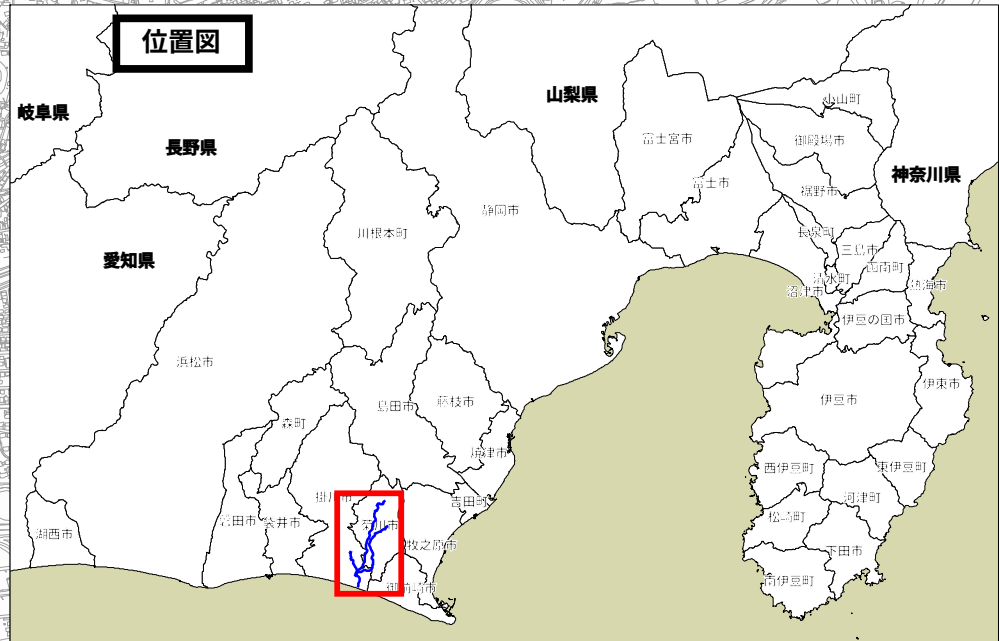
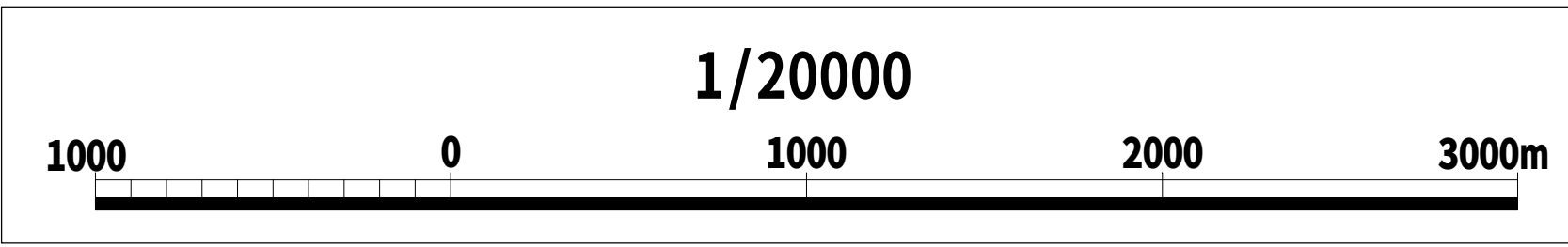
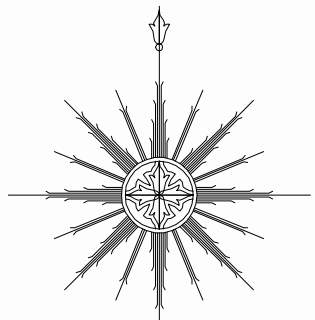
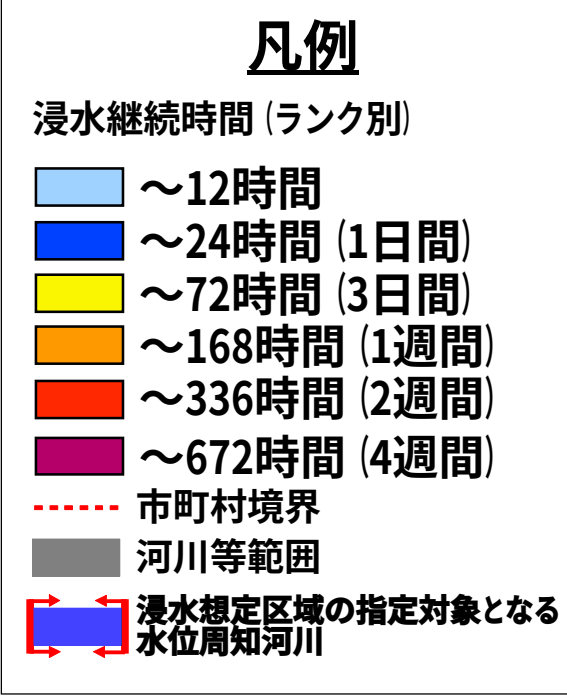


菊川水系下小笠川 洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



1. 説明文
- (1) この図は、菊川水系下小笠川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
- (2) この浸水継続時間は、指定時点の下小笠川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により下小笠川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所
- (2) 指定年月日 平成28年12月15日
- (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第137号
- (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
- (5) 対象となる水位周知河川
菊川水系下小笠川（実施区間）
左岸：静岡県掛川市下土字椿敷百九十九番地の一地先の県道橋から幹線合流点まで
右岸：同県同市下土字椿敷百九十九番地の一地先の県道橋から幹線合流点まで
- (6) 指定の前提となる降雨 下小笠川流域の1時間雨量14.1mm
- (7) 関係市町村 掛川市、菊川市
- (8) その他計算条件等
- ① この図は、下小笠川の水位周知区間で破堤した場合の浸水継続時間を図示しています。
- ② この図は、下小笠川の菊川合流点より上流において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
- ③ 氾濫計算は、対象区間をおよそ10m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。



国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平28情使、第683号）